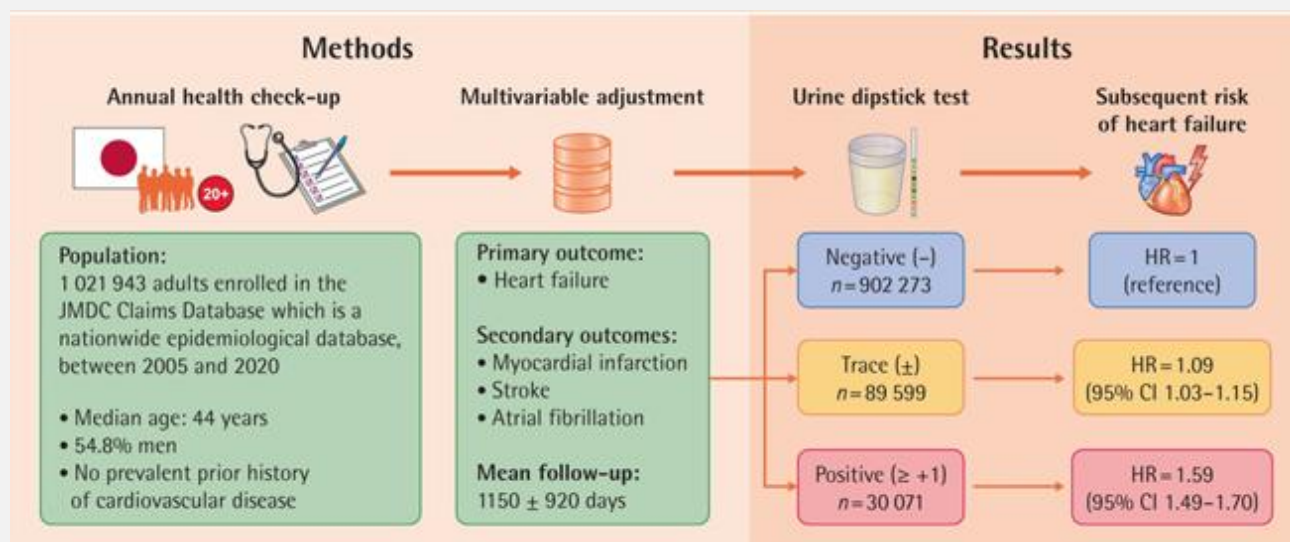




Topics ～循環器診療に役立つ、最新の話題～

心不全を防ぐために日常臨床で尿蛋白の定期的チェックを！

心不全は以前より心腎症候群とほぼ同一とさえ言われています。また、心不全はすべての心疾患と深い関連があることからすると、心疾患を診る場合は常に腎臓も併せて診ていく必要があるということになります。腎臓を診てというと、とかく血清クレアチニン値やeGFRのみに注目しがちですが、尿所見も重要な診るべきポイントです。ひとつ例を挙げると、日本人の健診受診者約100万人の解析結果で、**尿蛋白定性検査が（±）でも心不全発症リスクが（-）に比べて有意に9%上昇することが示された疫学研究があります。**ぜひ日常臨床で尿蛋白を必要に応じて診ていただき、その異常が持続する場合は心臓も視野にいれて対応いただければと思います。



Nephrol Dial Transplant. 37:1691-1699,2022

文責 佐藤 直樹

スタッフ紹介 Vol.41



森井 大一

医師
感染症コンサルテーション
感染制御

2005年度 大阪大学卒

2021年から非常勤で勤務しています。感染症・感染制御は、公立昭和病院、米国サンフランシスコVAなどで学びました。特技はけん玉です。一番最近映画館で観た映画は『オオムタアツシの青春』です。一番最近読んだ小説は『巨匠とマルガリータ』です。

過去のハートチーム通信はこちら →

